

移動スーパーの検討は

吉川 三津子議員

他の自治体の状況など含め研究していく
保険福祉部長



▲移動スーパーで買い物する高齢者(稲沢市平和町にて)

問 愛西市においては、巡回バスはシルバーカーを乗せてもらえない。社会福祉協議会の買物支援バスは少人数しか利用できない。福祉タクシーは公共施設や病院にしか行けないなど、買い物に不自由だ。

稲沢市では、地元スーパーと個人事業主が連携して移動スーパーが走っている。検討の考えは。

答 利用者の声、利用状況、事業開始に係る他の自治体の支援や補助の状況など、起業される事業主の側のことも含めて研究していく。

問 稲沢市の「おでかけタクシー」は、市内のどこにも行け、75歳以上の方誰でも使え、料金の半額が補助される。友達と一緒に買い物や図書館に行くなどに使われている。研究の考えは。

答 利用者の状況、経費、今後の見通し等を確認していく。

問 佐屋老人福祉センターは、介護予防の拠点になるべきだが、南館は、暖房もきかない状況だ。整備すべきでは。

答 指定管理者によるアンケートで利用者の意見を聞き、利用方法を考え、その後に改修が必要であれば予算を盛り込んで進めていく。

介護サービスを受けた方は増え、介護を提供したい側の人材不足という非常に厳しい状況で、手探りのところもある。提案に真摯に耳を傾けて進めていく。

新1年生に
教員加配を

問 35人ぎりぎりの1年生クラスが複数できそうだが、国が進める人材バンクで教員希望の大学生を雇用し、加配の考えは。

答 有効な手段であるが、教員の負担等の増につながるおそれがあり、教育現場に適した人材の確保に課題がある。